



## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は議員活動、後援会活動に対し、格別なるご理解、ご支援を賜りありがとうございました。

12月議会では、藤岡南中学校を新設する条例や西広瀬工業団地拡張事業造成工事8億1,900万円の契約締結などが可決されました。一般質問では、下記の内容について質問しました。今回は、紙面の関係で掲載していませんが、関心をお持ちの方は、ご連絡ください。今後とも市民にとって有益と思われること、本来あるべき姿を求め、議員活動を継続してまいります。

そして、いよいよ4月には、市議会議員の改選時期を迎えます。議席をいただきました約11年間、今まで大勢に流されることなく、常に市民の立場で活動できましたのも地元の皆様、後援会の皆様をはじめ、市政に対して問題意識を持っておられる多くの市民の皆様のご理解があったからです。

今後、利益誘導団体、既成組織や政党の枠にとらわれることなく、市民の皆様が本当に求める市政実現のために働かせていただきます。どうぞ、無所属市民派議員のおかだ耕一に今年も昨年同様、温かいご支援を賜りますよう心からお願いいたします。そして、今年も皆様にとりまして素晴らしい年になりますことを祈念し、新年のごあいさつにかえさせていただきます。

豊田市議会議員 岡田 耕一



## 4期目に向けての支援のお願い

後援会会員の皆様ならびに支援者の方々におかれましては、益々、ご清栄のことと存じます。日頃は、おかだ耕一に対し、格別のご配慮を賜り誠にありがとうございます。彼は、常に「身近な市政」をモットーにひたすら努力を重ねてまいりました。

早いもので11年の歳月が過ぎようとしておりますが、活動や実績について私から改めて申し上げるまでもなく、いつも身近に、そして、彼と一緒に歩みを共にしておられる皆様方には、十分にご理解を頂いておられるものと確信いたしております。

昨今では、特に財政破綻をきたした市、あるいは突発的に発生した自然災害等での対応をめぐる政治不信が、全国的に充満しております。このような状況に陥らないよう、彼は「変革する勇気と責任」で、ひとすじに働いてまいりました。おかだ耕一に対して、「彼でなければ」との期待が真剣に寄せられるところだと思います。また、豊田市の未来のために、おかだ耕一は「礎」となる覚悟でございます。

皆様の大切な豊田市が、安心で安全なまちづくりのために引き続き、おかだ耕一にご支援いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

おかだ耕一後援会会長 森田 秋男

後援会の入会ご案内のリーフレットが完成しました。お知り合いの方にお渡しいただける方は、ご連絡ください。

## 22年12月議会一般質問内容(一部) (質問&答弁は、おかだ耕一ウェブサイトからご覧いただけます)

### 1、本市の情報発信力、広聴力の向上

- ①本市の情報発信の現状認識と今後の改善点
- ②ツイッターに対するメリット、デメリットの認識
- ③本市として、ツイッターを活用する考え
- ④広聴機能としてのEモニター制度の課題と改善点

### 2、行政委員の報酬の考え方

- ①非常勤行政委員報酬の積算根拠
- ②月額報酬を違法とした高裁判決に対する認識
- ③本市でも行政委員を月額報酬とする考え

## とよた市民の会 無料法律相談のご案内

～派遣切り、生活相談もどうぞ～

【開催日】 2月12日(土)・3月12日(土)

※1月はお休みします

【時間】 午後1時30分～3時

【場所】 豊田産業文化センター4階

【お問合せ】 小林おさむ 80-5323

弁護士に無料で相談できます。完全予約制といたしますのでご了承下さい。ご希望の方は前日までにご連絡ください。

### 1.学校トイレの改修が進む

臭い、汚い、暗い、壊れているという4K状態の学校トイレの全面的な改修を求めました。その結果、「清潔で快適なトイレ」をコンセプトに改修が始まり、東山小学校をはじめ、現在、多くの小中学校でトイレ環境の改善が進んでいます。



改修を終えた井郷中のトイレ

平成20年度
小学校9校(朝日小、青木小、稲武小、竹村小、堤小、若林東小、駒場小、九久平小、東山小)
中学校3校(松平中、稲武中、逢妻中)
平成21年度
小学校2校(若園小、平和小)
平成22年度
小学校3校(欽部小、四郷小、小清水小)
中学校2校(井郷中、保見中)

### 2.広報とよたの印刷業者見直し

昭和26年の創刊号発行以来、継続して一社が独占してきた「広報とよた」の印刷は、「公平性の観点から問題がある。市内業者で競争させるべき」と何度も議会で取り上げました。その結果、平成22年度、初めて提案型の競争入札において業者選定を行い、別の印刷業者が6月1日号から印刷・発行に携わっています。



### 3.広告付き窓口封筒の業者選定の変更

市民課などの窓口には置かれている広告付き封筒。平成18年3月の導入以来、広告代理店を1社に限定していたので、議会での複数の質問において「競争原理を導入し、代理店を公募すべき」と主張しました。



その結果、平成23年3月分からは、毎年公募での対応に変更されました。そして、今回は2社による応募があり、厳正なる選考にて業者が選定されました。

### 4.おいでんバス等の拡充



他会派議員とともにおいでんバス等の公共交通機関の拡充を求めてきました。その結果、豊田東環状線の新設や、豊田・渋谷線の延伸など、徐々にではありますが、路線が拡充されてきました。

### 5.資産の有効活用

公有財産の売却についてはインターネットオークションやインターネット公売の実施を求め、議会で取り上げました。その結果、現在、いくつかの案件についてインターネット公売を実施するようになりました。

また、歳入増を積極的に進めるため、市のホームページへのバナー広告導入などを求め、議会で取り上げました。その結果、平成22年度より、市のホームページへのバナー広告導入や市職員給与明細への広告掲載が始まり、税以外の歳入増加につながりました。



市ホームページの下記に掲載されたバナー広告(企業広告)

その他の項目については後援会会報No.50(3月1日号)に掲載予定です

## \*\*\*\*\*おかだ耕一の今後の取り組み事項\*\*\*\*\*

### 病児保育施設の拡充と近隣市との相互利用

現在、豊田市には、東部地域に、すくすくこどもクリニックが開設した病児保育室「すくすくの森」、中心部には豊田厚生病院内に設置された病児保育室「ぴよっこ」と丸山こども園に病後児保育室「おひさま」があります。ただし、豊田市北部地域や南部地域には、病児保育施設も病後児保育施設もありません。そこで、小児科医のご理解、ご協力を得て、市内にバランスよく病児保育施設が設置されるよう継続的に働きかけます。



すくすくの森での保育風景

また、他の自治体で導入されている近隣他市との相互利用も提言いたします。近隣では、岡崎市、安城市、知立市に病後児施設があり、豊田市の施設との連携は十分可能と思われる。積極的な働きかけをしてまいります。

※「病後児保育」とは、病気がほぼ回復したにもかかわらず登園許可が下りないときの保育。看護師、保育士が対応。

「病児保育」とは、子どもが病気になってまだ回復していないときの保育。看護師、保育士とともに小児科医の対応も可能。

### 小児休日・夜間診療の実施および受診の啓発

豊田市では、夜間・休日の入院治療を要する小児科二次救急を豊田厚生病院とトヨタ記念病院が輪番制(交代制)で小児科医が待機し、対応しています。しかし、入院治療を要しない症状については、豊田地域医療センターに隣接して設置されている医師会の休日救急内科診療所にて受診することになります。ただし、医師は小児科医とは限らないため、子ども特有の症状については、診断が非常に難しいとも言われています。そのため、岡崎市をはじめ、他市では、小児科医による休日・夜間の診療を行っているところもあります。豊田市においても岡崎市同様の小児科医による休日・夜間の診療を求めてまいります。

ただ、本来は、平日や昼間に受診できるにもかかわらず、空いているからなどという理由で、休日・夜間に受診する方もいるようです。そうした状況を避けるため、通常、無料としている医療費を「休日・夜間特別受診費」として、小児科二次救急患者以外からは一

定額の医療費徴収はすべきと考えます。また、安易な受診は控えるよう啓発活動も必要と考えます。

医療費を完全無料化にしてしまうと、安易に休日・夜間に受診させる可能性もあり、小児科医の過重労働による過労から更なる小児科医不足の原因にもつながりかねません。結局、安全・安心の体制づくりとは逆の方向に行ってしまうと危惧しています。

### 特別養護老人ホームや小規模多機能型施設の整備ならびに介護予防事業の充実

豊田市では平成22年9月末現在で773人の特別養護老人ホームへの待機者を抱えています。それは、決して要介護度が低いわけではなく、施設整備が進んでいないからです。今後も地域密着型の施設整備の計画はあるものの、まだまだ施設が足りません。意欲のある法人と連携しながら適正な数の施設整備を求めています。

また、それと同時に地域密着型の「小規模多機能型施設」の整備も求めています。「小規模多機能型施設」とは、地域の高齢者が日帰り介護サービスを受けることが可能な「デイサービスセンター」を持ち、利用者の介護する家族に都合が生じた際、数日間の宿泊が可能な部屋を設置しています。また、地域の高齢者への在宅サービスをケアマネジメントし、ホームヘルパー等の派遣(訪問・夜間訪問、緊急通報による訪問)が可能な機能を持った施設です。

メリットとしては、「通い」「訪問」「泊まり」の、いずれのサービスを利用しても、いつも顔なじみの職員がケアを行うことや月額定額制のため、介護保険利用限度額からはみ出す心配がないと言われています。また、24時間年中無休という形態で、柔軟かつ必要なサービス提供が可能なため、家族の介護負担を軽減することができます。そして、デイサービス・デイケアに比べ、通いの提供時間も長めで、延長料金などの加算もないと言えます。

このようにいいことづくめの施設の様ですが、現在、豊田市内には特別養護老人ホーム「くらがいけ」内の1施設しかありません。



特養ホーム「くらがいけ」の多機能ルーム

**おかざき  
小児救急**

**夜間急病診療所に  
小児科医を配置**

6月1日(火)、岡崎市では、岡崎市医師会  
公立豊田センター・夜間急病診療所に小児  
科医1名を加え、小児救急医療体制を充実  
しました。病状の急な発症に際してください

お問い合わせは  
岡崎市保健所健康課事業部  
TEL 0564-23-6695

子どもの命をお守りください。http://www.city.okazaki.jp

## マレットゴルフ場、グラウンドゴルフ場の施設整備

現在、豊田市では、河合池マレットゴルフ場をはじめ、多くのマレットゴルフ専用コースが整備されています。しかしながら、その管理は、地元のボランティアによって管理されていることが多く、新設しようとする場合、管理していただける地元有志の皆さんの確保ができないと整備がなかなか進まないという現状があります。



河合池マレットゴルフ場

そこで、管理をシルバー人材センターなどに委託し、一定の人件費も支払いながら管理と同時に新たなコース整備を進めては

いかがでしょうか。そのための財源としては、市からの税負担とともに受益者負担として1人1日あたり100円程度のプレイ料金も徴収してもご理解いただけるのではないのでしょうか。

また、小渡、笹戸、夏焼等の市内温泉地のいずれかに隣接する形で144ホール規模以上のコースを整備すれば、過疎振興、他地区からの観光客の来訪と、観光資源としても有効に活用できるのではないのでしょうか。

そして、マレットゴルフ場とともに全国的にはマレットゴルフ以上に競技人口の多い、グラウンドゴルフ場の専用コースも整備すべきと考えます。マレットゴルフ、グラウンドゴルフ、それぞれ、違った楽しみがあります。高齢者が参加しやすい体制づくり、コース整備が進めば、生涯スポーツとして、医療や介護に頼らない、いきいきとした健康的な楽しい生活が送れるものと確信しております。

## リゾート安曇野以外に市民利用できる施設を拡充

リゾート安曇野は平成21年度では1年間に16,582人の市民の皆さんが宿泊され、利用者からは高い評価を得ています。ただし、管理費として約

1億7,600万円の税金が使われ、宿泊者1人に対して1万円以上も使われていることとなります。そして、休前日に宿泊希望者が集中するため、平日利用できる方は何度でも活用し、土日にしか休めない方は、なかなか予約も取れない状況です。実際に市民42万人のうち4%しか使えない施設となっています。平成19年度から24年度には1億5,000万円以上の改修も予定されています。今後は、さらなる大規模修繕も必要となると見込まれます。そこで、本施設は売却し、その代わりにリゾート安曇野を含め、全国各地の優良なホテルと、入札による利用契約を締結(1泊2食15,000円程度を12,000円に)することを提案します。さらに市は抽選等にて2,000円のクーポン券を発行し、市民に配布します。これなら市民は全国各地の優良施設の15,000円程度の宿泊費を10,000円で利用できます。仮に今後もしリゾート安曇野の管理費と同じ予算が確保できるなら現在の5倍以上の88,000人の市民が利用できることとなります。



リゾート安曇野外観

## 住み慣れた自宅を手放すことなく生活費を確保

年齢を重ね、自宅は自己所有しているものの、収入は年金だけで、預貯金も余裕がなく、病気になったときなどは生活費が心配。そんな声をよく聞きます。そんなときのために、住み慣れた自宅に住んだまま、自宅を担保に生活費を融資してもらう制度があります。こうした制度をリバースモーゲージ制度といいます。全国には金融機関が行っているものと自治体等が行っているものがあります。近隣では、高浜市が、「いきいき資金融資」というリバースモーゲージ制度を2001年に制度化しました。

そこで、豊田市でも豊田市版リバースモーゲージの制度化を提案します。年齢や土地評価額等、安心して活用できる豊田市独自の規定を制度化すべきと考えます。

その他の項目については後援会会報No.50(3月1日号)に掲載予定です

おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店 (普通) 1113815 おかだ耕一後援会  
郵便振替 00820-9-205061 おかだ耕一後援会  
《他行からの振込口座 9900 089(当座) 0205061 オカダコウイチコウエンカイ》

カンパ頂いた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申し上げたいため、ご一報下さるようお願いいたします。政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。

《連絡先》

TEL/090-2929-7529  
FAX/88-9194

(こーいち)

<http://www.ko1.org/>  
E-mail:okada@ko1.org

市政に関するさまざまな  
疑問、質問、要望、情報等  
お気軽に寄せください。